

鍵山優真

フィギュアスケート 4大陸選手権3位



メダルを手にする鍵山優真

4大陸選手権の男子シングルにて星槎国際横浜鴨居の鍵山優真が、SP 91.61点、FS 179.00点で3位となり表彰台にのぼった。

自己ベストを更新する179.00点で3位に浮上。初出場ながら銅メダルに輝いた。

次戦は3月4日にエストニア・タリンで開催される世界ジュニア選手権だ。冬季ユース五輪も制した16歳は大舞台に向かう。

ジュニア ワールドカップ ドイツ大会 銀メダル獲得!

小久保真旺



表彰台に立つ小久保真旺

ドイツのドルマーゲンで開催されたジュニアワールドカップドイツ大会(2月1日〜3日)で星槎国際川口の小久保真旺がサークル個人に出場し、見事銀メダルを獲得した。

この大会は、全世界で活躍しているジュニアのカテゴリー(17歳以上20歳未満)のアスリート151名が集結し、激闘を繰り広げた大会である。今回、国際大会で銀メダルを取り、自信をつけたという小久保選手にインタビューをした。

合をしました。動作が大きくなると負けてしまうので、できるだけ動きを小さく速くするように大会中は意識しました。

最も印象的だった試合は3回戦。7-12で負けていて、そこから8点連続で取って勝ったからです。大会を振り返ると、いつもより良い動きはできていたのですが、決勝で最後の1点を取りきることができなかつたので、悔しい思いをしました。

Q1. 大会前の練習はどういう気持ちで取り組めましたか?

少し緊張していましたが、ネガティブなことばかり考えても仕方がないので、あまりそうだったことは考えずに、フエンシング動作の調整のみを意識して練習に取り組みました。

Q2. 今回の結果について感想は?

大会当日の朝、ウォーミングアップで足を捻挫して少し不安な状態で試合をしました。

Q3. 2019年を振り返る感想

今までで一番成長した年になったと思います。インターハイで優勝したことも自信に繋がりました。これまでの活躍が認められ、20歳以上のシニアのカテゴリーに入ることもできました。そして、シニアの大会で良い成績を取れた結果、シニアのナショナルチームに入ることができたのは良かったです。

Q4. 学校とフエンシングの両立について

学校では、特に英会話

Q5. フエンシングのサークル(種目)の魅力は?

一つひとつの剣の繊細な動きとスピード感、サークルにしかない斬る動作を味わえるのが魅力です。

Q6. 星槎の仲間へ伝えたいメッセージをお願いします。

これからも応援よろしくお願いします!

小久保選手は、フエンシングの仲間からは「教えるのが上手い」「負けず嫌い」と言われており、何事にも妥協することがない生徒である。今後の小久保真旺の活躍に期待したい。

(川口学習センター 松本拓也)

第26回 神奈川県高校女子サッカー新人大会の準決勝・決勝戦が1月25日、2月1日に行われた。

女子サッカー部の上部組織であるトップチームSEISA OSAレイア湘南FCが関東2部リーグ昇格戦のため、高校生が何人か抜けた状態での試合となった。

1月25日(土)準決勝、相手は弥栄高等学校。10

時30分キックオフ、場所は、かもめパーク。高校生リーグでは0-2と敗戦を喫している。選手は試合前から緊張していて、ウォーミングアップ中でも表情に出ていた。

試合前には同じ相手に2度は負けられないと選手を鼓舞しピッチへ送り出した。緊張からかボールが足につかず、ミスが連続してしまう。弥栄も前線からの守備を意識して、なかなか星槎のペースに持っていけなかった。

後半15分、待望の先取点を奪う。このまま勢いに乗ってペースを握りたいところだが、選手間で見合わず、追加点は奪えない。逆に自分たちのミスで弥栄に力ウンターを仕掛けられてしまうシーンも見られた。見せ場のないまま時間だけが過ぎ、前半を終了する。ハーフタイムでは若干の立ち位置を修正し、相手の立ち位置を見て自分の立ち位置を決めること、ボールホルダーの状況で立ち位置を決めることなど若干の修正が加えられた。

後半立ち上がり3分、4分と相手の出鼻をくじき追加点を奪う。選手の立ち位置を考えたこと、追加点を奪えたことによりボールが少しずつつ動き始めた。相手ゴール前に押し込むことが多

神奈川県高校女子サッカー新人大会 4年連続優勝



女子サッカー スターティングメンバー

プ気味に放ったシュートがネットを揺らし先制。苦しい試合展開を予想していたので嬉しい得点。ボールを保持したい星槎、ボールを前線で奪いたい湘南学院。

選手の距離感と立ち位置が悪く、なかなかボールが動かせない。相手ボールにしたいくない気持ちがプレーに表れている。

こぼれたボールを星槎の選手が奪う回数は7割を超えていたのではないだろうか。そうすることで相手のシュートカウターを阻止し失点の可能性を低くしていた。

能力で勝る湘南学院の攻撃も全員で体をはり無失点で前半を終える。後半はハーフタイムで修正しボールが動き出すがなかなかシュートまではいけず、押し込まれるシーンが多くなった。

後半26分PKを与えてしまい同点にされる。星槎にとって同点にされたことで、もう一段階スイッチが入り集中力が高まる。

一進一退の攻防の中の後半30分。ミドルシュートが決まり勝ち越しに成功する。残り5分相手の猛攻をしのぎきり、試合終了のホイッスル。2-1で勝利した。

新人大会4年連続優勝。試合前、自分たちらしく戦おうという言葉をかけ、その思いを表現してくれた選手たち、いろいろな思いがあった中で決勝戦だったが、選手たちの可能性を、伸びしろを感じさせてくれた一戦だった。

(女子サッカー部 コーチ 小野正純)

未来に向けて スポーツを超え

1月26日から2月5日の11日間、STAR(Study of Trust Achievement Respect)プログラムで

ロイヤル・ティンブー・カレッジ(RTC)の一行が来日した。本プログラムは、2012年から



宮澤会長とSEISA-RTC STAR 第9期

毎年続けられている短期交換留学であり、RTCが実施しているヨーロッパやアメリカの他大学と行われている数ある国際交流活動の中で一番歴史が古い。毎年の参加者倍率は5倍を超え、今回の参加者たちも厳しい審査基準をクリアして来日した。参加者は学生10名、引率職員2名、そして昨年1月に学長に就任されたばかりのツェワン・タンディン先生も今回一緒に来日された。

RTCは同国首都ティンブーに学舎を構えており、ブータン王国初の私立大学として2009年に設立された。設立当初は4学部だったが、今では経営、経済、人文、情報、社会科学、マスコミュニケーション、環境、看護、英語、ソニカ語と10学部を揃え、同国では最先端の教育を実施、学生数は1200名を超える。また、今後は、スポーツ教育にも取り組む予定であり、ツェワン学長は今回の来日で宮澤保夫会長と星槎グループとRTCと今後の多角的提携方法についても幾度となく話



左からツェリン・ベンジョ(星槎大)、ペマ・セルデン(FGC)、ツェワン・タンディン学長(RTC)、ジミー・ドルジ(星槎国際八王子・高尾)

し合いが行われた。

RTC-STARプログラムの参加者は、期間中、星槎高尾キャンパスに宿泊し、星槎国際八王子・高尾キャンパス・新制作座の皆さんからおもてなしを受けながら、日本の習慣や所作・作法を生活しながら学んだ。

星槎大機キャンパスの訪問では、星槎グループ創設者の宮澤保夫会長を表敬し、思想性の大切さ、両国の歴史、両校の歴史を共に振り返った。また、紙漉き体験も行っており、両国にある紙漉きのつながりについても学びがきっかけを得ることができた。

星槎中学・高校、星槎国際小田原、星槎大学、大学院の訪問では、星槎が実践している人と人との関わり、共生ディスカッション、文化体験、そして実際に星槎大学の高木由起子先生、保野初子先生、星槎大学院の佐々木伸先生による言葉や文化の垣根を超えた多感覚応用の授業を受講して頂いた。星槎グループ外では、小田原城、鎌倉大仏として名高い国宝銅像阿彌陀如来坐像を本尊とする高徳院鎌倉、国立研究開発法人

海洋研究開発機構(略称JAMSTEC)、国立天文台を訪問し地域文化や場所文化の探求を行った。

今回、世界こども財団職員兼東京大学公共政策大学院修士1年生ペマ・セルダンさん、星槎国際八王子・高尾スタッフのジミー・ドルジさんが共に帯同しサポートを行った。ブータンと日本、RTCと星槎を繋ぐ2人はRTC卒業生でもありプログラム参加者の先輩でもある。

また、星槎大学アコモデーションコース陸上部1年生のツェリン・ベンジョさんも星槎大学と星槎大学院で行われた授業には共に参加し先生方やRTC学生のサポートを行った。

第66回 大磯一周駅伝

陸上競技部が 完全優勝！ 星槎チームが 活躍！



大磯一周駅伝を共に戦った仲間たち

毎年恒例になった大磯一周駅伝が1月19日、晴天の中で開催された。星槎国際湘南からは陸上競技部、硬式野球部、男子サッカー部、男子バスケットボール部が参加。そして星槎の仲間が集結したオール星槎の5チームが参加した。

結果は陸上競技部が1区からすべて区間賞の完全優勝(駅伝の世界では、1区から一度も首位を譲らないで優勝すると完全優勝と表現する)、男子サッカー部が総合6位、硬式野球部は総合9位、男子バスケットボール部が1区で出遅れてしまいが、総合15位。オール星槎は総合26位だった。

陸上部は目標としていた優勝ができ、男子サッカー部も総合6位と結果を残すことができた。入賞することはできなかったが、硬式野球部やバスケットボール部もそれぞれ

陸上競技部 2区 加藤徳幸
1区の選手が1位で持ってきてくれたので余裕を持って走ることができた。町の方々の応援もあって最後まで楽しく走れた。タイムはもう少しいいと思うが、区間賞をとれたのは良かった。来年は区間新記録を狙いたい。

男子バスケットボール部 4区 室井龍騎
治道からの「星槎バスケット部頑張れ」という声援が多く、大磯町の温かさに触れることができた。走り終わった後は、苦しさよりも楽しさの方が何倍にも感じた駅伝大会だった。

男子サッカー部 1区 村本拓海
駅伝を走り、治道からたくさんの方々が応援してくれ、力になった。これまで行ったことのない大磯を走り、もっと大磯町について知りたかった。

硬式野球部 2区 中平颯馬
野球部は残念な結果になってしまいましたが、地域の方々の治道での声援が力になった。来年は地域の方々に良い姿が見せられるよう頑張りたい。

オール星槎 6区 中川将吾
(星槎学園北斗校)
高等部1年生の時からオール星槎として参加し、今年で3回目。練習や本番は大変だと感じることも多かったが、その分良い経験を得ることができた。当日はアンカーを担当し、ゴールまで走りきることができて良かった。3年間ありがとうございました。

野球との出会いは、小学1年生の頃からだという。父親の草野球の応援に行き、父親とキャッチボールをし、野球の楽しさや素晴らしさに目覚めていった、星槎道都大学硬式野球部マネージャーの長濱優花(経営学科

考えていたが、やはり「大学野球のマネージャーをやりたい」という思いが強く、また高校時代に学んだことを更に深く広く学びたいこともあって、大学進学に切り替えたという。

場等での試合アナウンスも行う。前の試合の6回終了時に、各チームからオーダー用紙が上がってくる。そこには、スターティングメンバーだけではなく、当日、ベンチ入りしている全選手の氏名とよみかた、出身高校など

の仕事の一つとなる。マネージャーとしてのやりがいは「選手を裏から支えて、その選手から感謝されること」だという。その仕事は、必ずしもスポットライトが当たる仕事ではない。「やりたい」という気持ちだけでは、

の一般常識」があり、それを踏まえつつ、選手との心の距離を大切に信頼関係を結ぶ、という難しい仕事。複数のマネージャーとそれを統括する主務とのチームプレーという裏方の力が、表舞台で選手が活躍できるかどうかにかかっている。

裏方のチームプレーが表舞台を支える！



硬式野球部マネージャー 長濱優花

2年)。高校時代は、文科系の部活動に所属していた。高校時代も、野球部のマネージャーをしていたのか、と尋ねると、「野球部、なかったんです。うちの高校(笑)」と教えてくれた。進路も、当初は就職を

キャンプでは、練習用具の送付の準備や宿泊先のホテル・球場との連絡調整、選手と道具業者との連絡の橋渡しや練習試合のスコア付けなど、たくさん

が記載されている。名前を読み間違えないように確認することは当たり前だが、苦勞するのは出身高校の読み方のイントネーションだという。そのほかに、球場のストライクやボールの表示のスイッチ操作もマネージャー

マネージャーという仕事はできないと、彼女は断言する。「野球のことを知らない」と苦勞します。私がそうでしたから」という言葉には、苦勞した道を通してきた者だけが知る重みがあった。ルールのみならず「野球の世界

もまた、忙しい日々を迎えることになる。ちなみに、好きなプロ野球チームと選手を聞いたら、「福岡ソフトバンクホークスが好きで、好きな選手は今宮健太さん」という、通らしい答えが返ってきた。

アスリートと呼吸

オピニオン

星槎国際湘南
教諭

佐々木雄大

横隔膜のコントロール

先月号で、赤ちゃんの頃のやわらかな呼吸に戻し、腹圧を高め、身体を中心に安定させることができれば、四肢(手足)に偏った動きから、中心から四肢へと連動する自然な動きへ転換され、効率よくパワーを生み出せるようになる。と述べた。ではどうしたら赤ちゃんのような呼吸にリセットし腹圧を高められるのか?その1つが横隔膜の

コントロールを体得することである。横隔膜は筋肉であるため、緊張と弛緩をする。息を吸うときに横隔膜は緊張をして下がり、肺に空気が入り込む。吐くときに横隔膜は弛緩をして上がり、肺の中の空気は自然と押し出される。このように呼吸とは横隔膜を上下にピストン運動させ、肺の空気を出入れして行われるのだ。この横隔膜を意識的にコントロールできるようにすることが、お腹のやわらかさにつながる。それが腹圧を高める土台となる。次にお腹を柔らかくリセットし、腹圧を高める具体的な方法について述べる。

腹圧呼吸実践

① 横隔膜コントロール (呼吸のリセット)

※長く吐く

息を吸ったときにお腹が膨らむことを確認する(前後左右上下360度膨らむのが理想)。浅い呼吸の人は息を吸ったときにお腹が凹み、肩が上がる。肩が上がらずにお腹周りだけが動くように意識することだ。まず5秒吸って5秒吐くのを繰り返す。吸うときは鼻から、吐くときにお腹がしぼむように。次は吐く時間を長くする。10秒、20秒、30秒と長く吐けるように。息が長い選手は、

生き(選手としての寿命)も長い。これを繰り返して横隔膜のコントロールを体得していく。

② 腹圧呼吸 (腹圧を保つ呼吸)

次は息を吸うときにお腹を360度膨らまし、息を吐く時も横隔膜を下げ続け、その膨らみをキープする。この際、余計に体を硬直させるのは禁物。胸部の中にある空気をおなかに落とすようなイメージで吐いていく。これがとても難しい。繰り返して練習をして体得して欲しい。この方法で呼吸を繰り返して、お腹の中の風船を大きくするよう

の。 アテネ五輪ハンマー投げ金メダリストの室伏広治選手は腹圧の高め方を、「横隔膜と骨盤底筋群を平行にし、空気のボックスを作る」と述べていた。これにより投運動がさらに合理的、効率的になり体力のピークを過ぎた30代後半で世界選手権を制した。腹圧を高めることがパフォーマンスを高める全てではない。しかし選手にとって腹圧を高めることが、大きな飛躍の力ギになるはずだ。

参考文献 『勝者の呼吸法』 著者：森本孝義 大貫崇 出版社：ワニブックス 発行日：2016年4月8日

ニュース速報

ボウリング 全国選手権大会に出場決定

星槎国際高校横浜鴨居のボウリング部の渋谷起暉が、令和元年度 神奈川県高等学校ボウリング新人大会兼全国選手権大会予選会にて6位となり全国大会出場を決めた。

星槎国際湘南女子サッカー部

星槎国際高校湘南 女子サッカー部のOGの宮澤ひなた(2017年度卒)さんが、2月11日からJヴィレッジで行われるなでしこチャレンジトレーニングキャンプに召集された。

加藤もも(2018年度卒)さんは、U-20 日本女子代表合宿に召集され、今年8月にコスタリカとパナマで行われる FIFA U-20 女子ワールドカップ 2020 に向け、静岡県内でトレーニングキャンプを開始した。

また、2月10日からJヴィレッジで行われるU-17 日本女子代表候補 国内トレーニングキャンプに星槎国際高校湘南の松尾美月と出演花音が召集された。

Kouhei Uchimura CUPに出場

星槎国際高校横浜鴨居の岡慎之助が、3月16日から3月18日に高崎アリーナで開催される「Kouhei Uchimura CUP」へ出場する。

内村航平選手、白井健三選手も出場する選ばれし11名の中に入りました。

星槎 教師 列伝

星槎国際大阪 教諭 東田 華奈

競技を通して得られたもの



物心つく前からプールで過ごすことが生活の一部となっていた。どんな泳げるようになることが、自分の練習での頑張りのあらわれのようで、とても嬉しく水泳が大好きになっていった。競技としての水泳に取り組み始めたのは、小学校2年生のとき。最初は厳しい練習についていくことが精いっぱいでしたが、その厳しい練習を越えた先に大会での自己ベスト更新という喜びがあった。水泳は個人競技だが、一緒に練習に取り組む仲間が存在も非常に重要だ。

選手コースに参加した頃は泳力がまだまだ足りなかったこともあり、特に何も考えずただ練習メニューをこなすだけであった。それを見て皆が「それぞれの練習の意

味や目的について考え取り組むこと」を教えてくれた。そこからは小学生ながらも練習の意味を考え、主体的に取り組むようになった。中学、高校では練習拠点をスイミングスクールとしたが部活動にも加入し、どちらの大会にも出場した。学校は屋外プールだったので、夏場は部活動での練習後にスイミングスクールへ行っ

た。長期休暇などは朝練と夕練、合宿があるなど水泳ばかりの学生生活を送っていた。色々なコーチに指導をしてもらえたこと、個性豊かなチームメイトに囲まれ充実した練習ができたこと、大会で様々なチームの子と試合を行いたくさんの友達が出来たことなど、水泳によってたくさんの経験を得ることができた。まだまだ水泳を続けたいと

セイスポ

神奈川県高等学校
バレーボール新人大会

ベスト4



スパイクをうつ吉田あかね

令和元年度 神奈川県高等学校バレーボール新人大会が1月26日、2月2日に行われた。結果は神奈川県3位でベスト4を取り返すことができた。

今回の新人大会を戦うにあたり様々な思いがあった。昨年、一昨年と新人大会で結果を出すことができず、悔しい思いをしてきた。春高予選で必死にもがき手にしたシールド権を新人大会で手放してしまい、苦しい戦いをしてきた。今年は新人大会で結果を残そうと基礎練習を徹底的に行い、昨年のチームのようなエースがいなくても全員で戦うバレーを目指し新人戦に挑んだ。

大会1日目の3回戦で古豪、県立大和南高等学校と対戦した。大和南は対戦したことが一度もなく、データもなかったのが怖い相手だ。序盤リードすることができたが、中盤でミスが続く、相手にリードされ先に20点目を取られた。その後相手のサーブミスに助けられ、逆転しセットをとることができた。2セット目は自分たちのミスが少なく、レシーブでボールを繋ぐことができた。苦しみながらではあったが勝つことができた。

大会2日目準々決勝の相原高等学校との試合では、春高予選で敗れているので絶対に負けられない試合だった。春高予選でも準々決勝で対戦し、敗退している。会場も同じ東海大学付属相模高等学校で全く同じシチュエーションだった。引退した3年生も応援に駆け付け、チーム一丸となり戦った。スタートから走り出すことができた。相手に一切隙を与えず、コンビバレーを展開することができた。打倒相原で練習を

積み上げてきた結果がこの勝利に繋がったと思う。準決勝では強豪、川崎市立橋高等学校と対戦。橋には中学生の時、神奈川県選抜選手が集まり、選手層が厚い。それに対し、星槎は中学校の県大会に出場できるかできないかの選手も沢山いる。身体能力の差は歴然だが、その差を埋める練習は毎日徹底的練習の中でできていた。その橋相手に一泡吹かせようと食らいついていったが結果勝つことはできなかった。橋という名前に負け、いつも通りのバレーボールをすることができない。それがとても悔しい。練習でやってきた事を出し切れば十分に戦えるが、気持ちで負け一歩引いてしまつ。正直、完敗だった。橋に敗れ、3位決定戦に勝利し、神奈川県3位という結果で新人戦が終わった。この結果に満足するかしないかで今後の結果は大きく変わると思う。負けるのが当たり前。戦う前に諦める、そんな姿勢では絶対に勝つことができない。

悔しさを忘れず、その強い気持ちを持ち続けて次の大会に挑んで欲しい。

(星槎国際湘南 女子バレーボール部 コーチ 佐々木徹)

女子バスケットボール
西相地区冬季大会
優勝

西相地区冬季大会が令和2年2月1、2、8日に行われた。西相地区の主な地域は、小田原・中郡・平塚である。今大会の目標は優勝すること。前提出色な戦術を試すための場として挑んだ。



10人で迎える最後の大会 円陣で気合注入

星槎がその隙をついて勝つことができた。

決勝戦

立花学園高等学校と対戦。

第1ピリオドは、27-10で星槎リード、第2ピリオドは、62-12で星槎リード、第3ピリオドは、84-25で星槎リード、第4ピリオドは、111-31の星槎リードで試合が終了した。終始、星槎ペースで試合を行うことができた。

二回戦

平塚学園高等学校と対戦。

第1ピリオドは、17-10で星槎リード、第2ピリオドは、33-27で星槎リード、第3ピリオドは、49-37で星槎リード、第4ピリオドは、66-54の星槎リードで試合が終了した。

試合序盤の出だしが悪く、攻めの重さによって守備も悪くなった。ボールポゼッションの回数が多くにも関わらず、得点が伸びず、失点が増えた。試合中盤から相手の動きが鈍り始め、運動量がある。

リバウンドボールを獲得でき、もう一度攻撃ができる。守備では、背が大きい相手は、確率の高いゴール付近のシュートが打てない。シュートを外すと大きい選手にリバウンドボールを獲得されるため、相手は、気持ちの良いシュートが打てない。

星槎のようなサイズの低いチームは、相手の守備が整っていない状態。よりゴールの近くで確率の高いシュートを決める必要がある。そのシュートが決まらなければ、相手の不利なため、相手にリバウンドボールを捕られてしまう。その結果、サイズの大きいチームが優位な試合展開になってしまつ。小さいチームが大きいチームを守ることは相当な運動量が必要になる。つまり、サイズの低いチームが、サイズの大きいチームに勝つことは、最終的には体力のあるチームが勝つことになる。

次の公式戦は、4月に行われる関東大会県予選である。それまでに、チーム一同より一層精進していきたい。

(女子バスケットボール部 監督 崔純也)

相馬市で
サッカー交流
プログラム開催

今年も2020年1月18日、19日の2日間に行われ、相馬市の光陽サッカー場にて、星槎奥寺カッパ2020とサッカースクールが開催された。

1月18日の星槎奥寺カッパには8チームから10歳以下の選手たちが参加し、1日をかけて2ブロックでの総当たり戦、各ブロックの順位別の決定戦でしのぎを削った。雪が舞う中で大会となったが、小学生ながらレベルの高いプレーも見られ、会場は大いに盛り上がった。

決勝戦はFC原一サッカースポーツ少年団と相馬サッカースポーツ少年団で行われ、相馬サッカースポーツ少年団が見事に優勝を飾った。



サッカースクール終了後、参加者全員で記念写真

2日目の1月19日は見違えるような晴天に恵まれた。小学校4年生から6年生までの100人以上の少年少女が参加し、「テクニクの獲得・シュート」をテーマにサッカースクールが開催された。日本のプロサッカーのバイオニアである奥寺康彦さんは、先日J1昇格を決めた横浜FCの会長として多忙を極める中、相馬市まで駆けつけ、熱心にこどもたちの指導にあ

たった。また、今回は星槎国際湘南男子サッカー専攻の岡本英訓コーチが全体の指導を担当したほか、東京大学サッカー部の学生やOBのボランティアも参加してくれた。

2日間のプログラムで、技術的な向上だけでなく、こどもたちには多くの交流が生まれた。相馬の方々に暖かく迎えていただき、恒例となっているこのイベントをみなさん楽しみにしていただいていることを実感することができた。

世界こども財団と星槎グループでは、2011年3月の東日本大震災以降、被災地のこどもたちや青少年への支援事業として、現地のスクールカウンセリング事業に加え、サッカーを通してこどもたちに元気を与える交流プログラムを継続してきた。復興はすみ、支援のあり方もかたちを変えていくが、これからも引き続き、この取り組みを続けていきたい。



箱根駅伝ミュージアム
HAKONE EKIDEN MUSEUM

箱根駅伝の名シーンを記録した貴重な写真や往年の名選手が愛用した品々、そして真剣勝負の裏側にある様々なエピソードなどテーマを区切って展示しています。

神奈川県足柄下郡
箱根町箱根167
TEL 0460-83-7511

オフィスの「ない」をすぐにお届け!
たのめーる

送料無料で経費削減!

約110万点の品ぞろえ!

当日・翌日お届け!

たのめーる 豊富な品ぞろえのオフィス用品通販なら「たのめーる」 検索と検索ください!
大塚商会 <https://www.tanomail.com/>

株式会社大塚商会 東京本社 〒102-8573 東京都千代田区飯田橋2-18-4
札幌・仙台・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・福岡

furusawa
printing Ltd.